

# 藤内遺跡の歴史や調査を解説

見  
教  
委  
富  
士  
町

## 15日現地説明会の参加呼び掛け

藤内遺跡で現地説明会の参加  
を呼び掛ける調査作業員ら



富士見町教育委員会は15日、同町烏帽子の藤内遺跡の現地説明会を開く。今年度から実施している新たな調査のほか、遺跡の歴史やこれまでの調査の成果を説明す

る。多くの参加を呼び掛けている。

同遺跡は約4700年前の縄文時代中期の集落遺跡。時期の異なる2集落があったという。1947年の発見以降

に調査が行われ、出土した199点の土器や石器などが重要文化財に指定されている。

今年度の調査は、遺跡全体の範囲や境界線などを特定し保存につなげる「範囲内容確認調査」。5月8日から6月30日までの日程で、井戸尻考古館の学芸員ら6人が調べている。調査が終盤に差し掛かったことから、調査で明らかになったことなどを現地で解説する。

同館の平澤愛里学芸員は「実際に遺跡を見てもらい、遺跡の規模や当時の景観などに思いをはせてもらえれば」と呼び掛けている。

午前10時～同11時。参加無料。申し込み不要。遺跡の場所問い合わせは同館（電話0266・64・2044）へ。  
（濱翔貴）